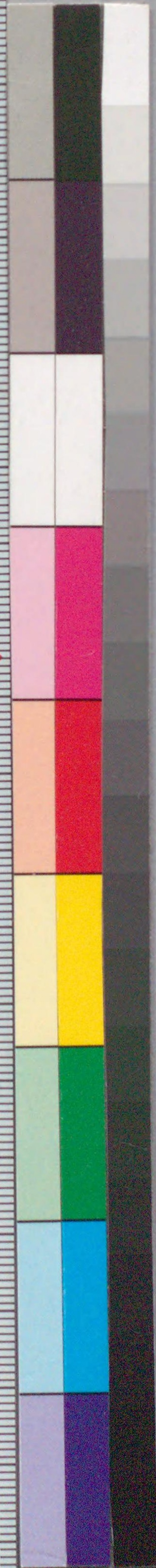


福来笑門松

素速齋作信画

207  
615



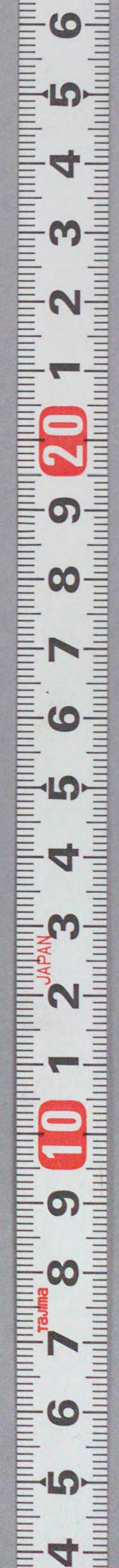
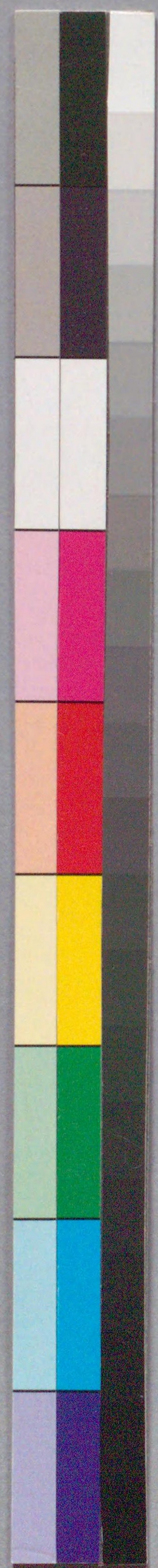


福来  
百  
前後  
五冊

素  
速  
奇  
作  
画

207  
615

文  
化  
五





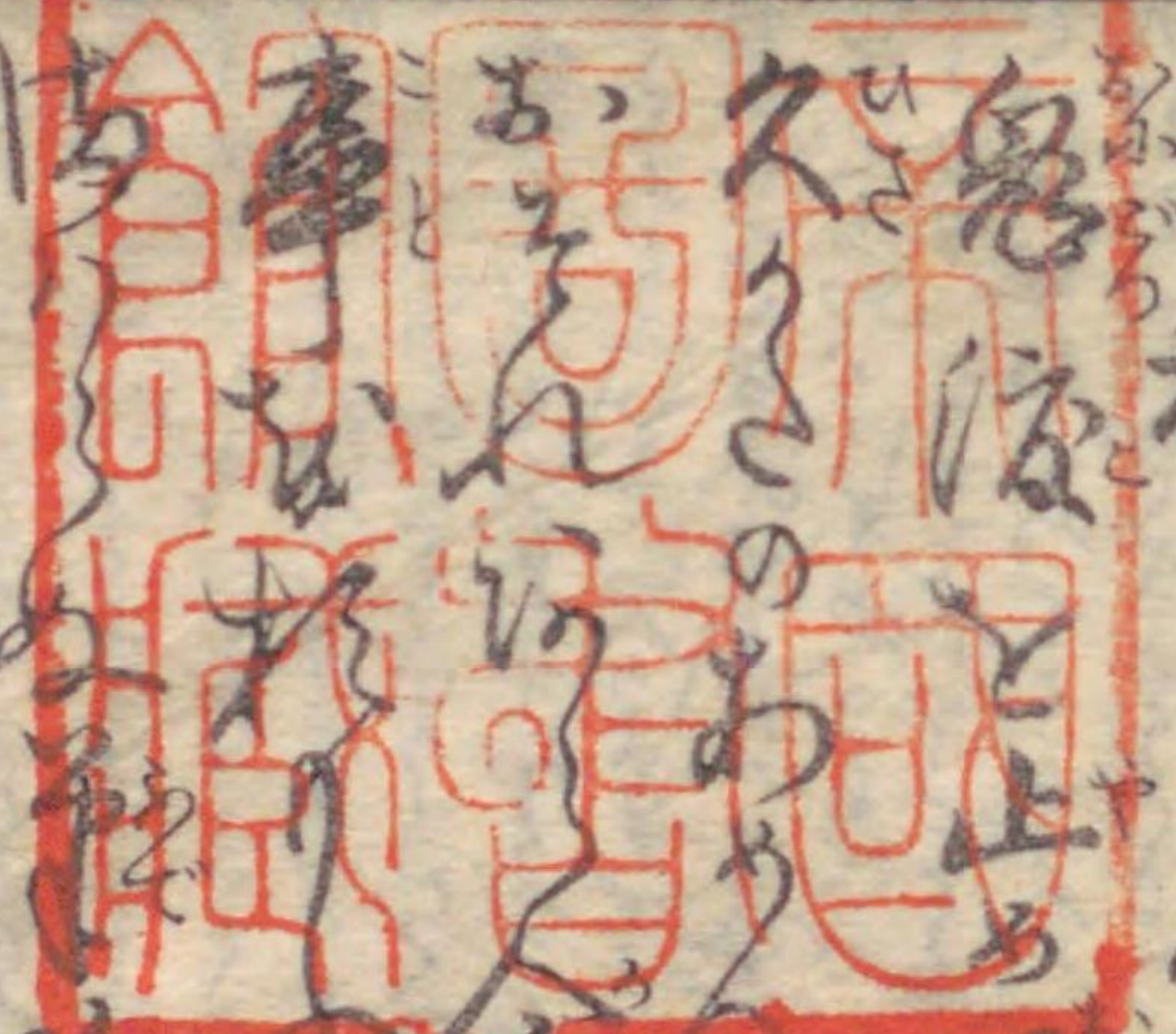
福來笑門松 全五冊

口上

一私見世の候に享保年中繪双帝高貴は身をも  
申渡遊お休存又く近幸貴妃見世の江高貴は  
儀表日瑞敏昌江真加至極難の使名も候無と  
候お頼魚系柳押合今守草双紙紙板は又毛の面  
延而の勢跡を抄作と奉り板は右の形相所は  
御水との柳儀もまわらうと

板元 鶴松堂

此日御の受意事いと申候は  
あまのひとある余是と儀に於て川  
丁稚がと累とひきき秘るく一月  
鬼渡と止め男女の申よ六  
久々のありあつたハ神  
あまのひとある余是と儀に於て川  
あまのひとある余是と儀に於て川



長崎の春 素速麻織

りしもの



















































































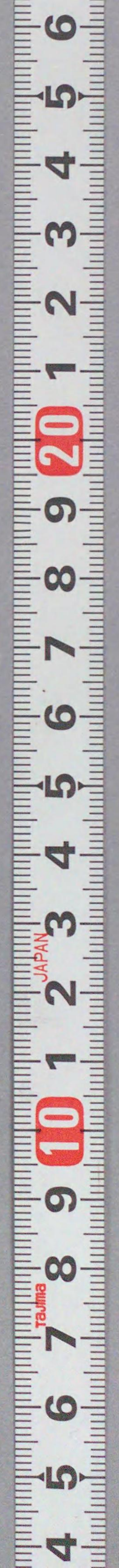


















207  
615



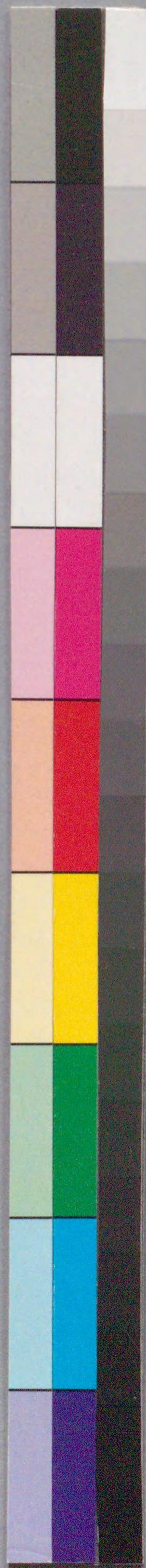
わんざん

素速舟也

二十



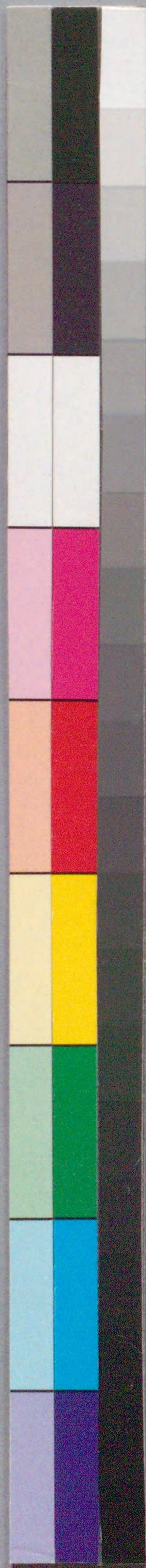




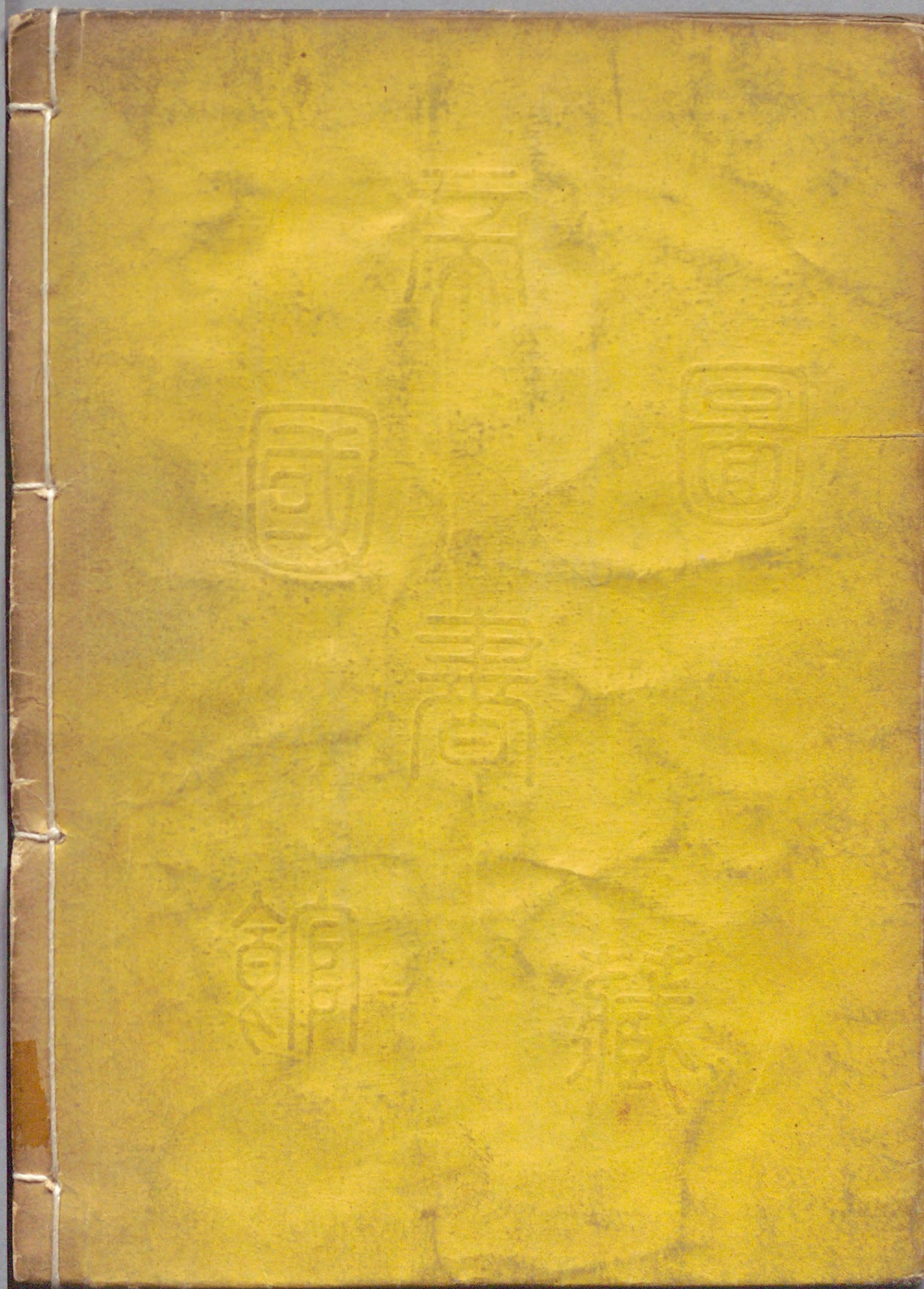
国立国会図書館 福来笑門松 : 5巻 207-615

ガラス使用





国立国会図書館 福来笑門松 : 5卷 207-615



ガラス使用

